

厚生・産業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成25年7月23日(火)

2 調査の概要

(1) 県立工業技術総合センター(栗東市上砥山)

同センターは、時代の流れに対応した技術力の向上を図るため、広範な分野の総合的な試験・研究・指導機関として昭和60年に設立された「滋賀県工業技術センター」と、県内窯業の拠点として昭和2年に設立された「滋賀県窯業試験場」を、平成9年4月に統合し「滋賀県工業技術総合センター」として新たにスタートした試験研究機関である。

同センターでは、電子・機械・金属・化学・食品・デザイン・窯業など広範な分野の研究開発機能や技術支援機能、インキュベーター機能を持った拠点施設として、また業界ニーズに対応した技術開発の推進、その成果の技術移転、新製品・新技術開発に対する相談指導、産学官のコーディネート等の総合的な産業支援に取り組んでいる。

こうしたことから、同センターの施設の概要等について調査を行った。



(2) 公立甲賀病院(甲賀市水口町松尾)

同病院は、昭和14年に産業組合立病院として設立され、昭和35年に甲賀郡7町による甲賀郡国民健康保険病院組合による運営に移行され、平成16年10月からは、市町村合併に伴う組織の変更により、公立甲賀病院組合に名称変更を行い、現在、甲賀市と湖南市による一部事務組合として運営されている公立病院である。

これまで、国保病院として地域包括ケアの理念のもと、健康づくり、健診、急性期医療(入院・外来)から在宅医療(ケア)、リハビリテーションまで、保健・医療・福祉(介護)などの医療を継ぎ目なく提供するとともに、病院事業を広域的に行い、経営の効率化を目指して設立された一部事務組合立の病院として、地域における中核病院としてのスケールメリットを生かしながら、救急医療、高度・専門医療に積極的に取り組まれてきたところである。

同病院は、今年4月には新築移転され、がん診療の拠点病院、また高度先進医療に対応できる病院としての体制を整えられるとともに、救急・急性期医療に対する万全な備えとともに、緩和ケア病棟や回復期リハビリ病棟を新たに開設し、総合的医療を提供できる体制も整えられたことから、施設の概要や新築移転に至った経緯、経営状況等について調査を行った。



(3) 県立福祉用具相談プラザ（草津市笠山7丁目）

県は今年6月、「身体障害者福祉法」に基づき、身体に障害のある方の生活を支援する補装具（補聴器や義肢・装具、車いす等）の相談や適合判定業務等の事務を行う身体障害者更生相談所（リハビリテーションセンター更正相談担当）を、福祉用具が必要な高齢者・障害者の方に適切な福祉用具を提供・支援する滋賀県福祉用具センター内に移転し、同プラザを開設した。

同プラザが総合相談窓口としての機能を果たすことによって、自分にあった福祉用具や補装具の選定、生活環境の調査等の相談を同時に行うことができるようになり、生活の質の向上につながる事が期待できることから、同プラザの施設の概要について調査を行った。

